

事業種類		主要な道路の整備		事業名		道路改築						
市町村名		佐久市～小諸市		(国)141号		あつべ 跡部～ひらはら 平原		事業年度 (完了年度は見込み) 26年度～ 33年度				
事業概要	区分	事業内容		事業費(千円)		財源内訳(千円)						
	全体	道路築造工 L=1,770m、w=13.0(25.0)m (うち橋梁2橋 L=407.5m、L=230.0m)		3,800,000		2,280,000		1,368,000		152,000		
	H26年度	橋梁詳細設計 1式		130,000		78,000		46,800		5,200		
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価区分				①得点	②重み係数	③評点 (①×②)		
	必要性	計画交通量	■ 10,000台/日以上		□ 1,500台以上～10,000台/日未満		□ 1,500台未満		15			
		代替道路	□ 唯一の道路である		■ 代替となる道路がある		□		0			
		ネットワーク (道路網)	■ 駅やインターチェンジが20km以内にある		□ 駅やインターチェンジが20km以上にある		□ 駅やインターチェンジに通じる路線でない		15			
			□ 通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である		■ 山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する		□ 山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない		15			
			■ 観光地に通じる道路		□ 観光地に通じる道路ではない		□		10			
		各事業特有の必要性(安全の確保)	□ 5.5m未満又は60m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)		□ 5.5m以上6.5m未満(幅員)		■ 6.5m以上(幅員)		5			
	□ 自動車と自転車・歩行者との分離を図る		■ 歩道はあるが不十分であるものを再整備		□ 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない		5					
	小計								65		0.3	20
	重要性	関連計画との整合	■ 県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)		□ 県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)		□ 該当なし		40			
設計上の環境・景観配慮		■ 環境・景観配慮がされ確実性が高い		□ 環境・景観配慮がされているが確実性が低い		□ 環境・景観配慮をしていない		25				
地域の法的な位置付け		■ 緊急輸送路(1次)に位置付けられている		□ 緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている		□ 特別な位置づけはない		35				
小計								100		0.15	15	
効率性	費用対効果	■ B/C 1.0以上		□ B/C 1.0未満				20				
	事業効果の早期発現(事業年数)	□ 事業年数 5年未満		■ 事業年数 5年～10年未満		□ 事業年数 10年以上		20				
	コスト削減	■ 全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している		□ 部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している		□ コスト削減はしていない		45				
小計								85		0.15	13	
緊急性	安全性の向上	□ 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる		■ 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		□ 交通事故や落石等の危険がない		20				
	各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	■ 主要渋滞箇所又は騒音・振動箇所が緩和する		□ 主要渋滞箇所又は騒音・振動箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する		□ 渋滞対策又は騒音・振動対策ではない		35				
		■ 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)		□ 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		□ 医療・福祉の連携に関係ない道路		35				
小計								90		0.2	18	
計画熟度	地域からの要望	■ 地域住民の内発的な要望が強い		□ 市町村からの要望		□ 特に要望がない		35				
	事業情報の共有	□ 広く一般に周知		■ 関係者中心に周知		□ 特に周知していない		25				
	住民参加の状況	□ 住民が計画策定に直接参加		■ 住民や市町村の意見を計画策定に反映		□ 特に住民意見は反映していない		20				
小計								80		0.2	16	
費用対効果(B/C)		2.6		評価の合計						82		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該路線は、上信越自動車道及び北陸新幹線佐久平駅へアクセスし、中部横断自動車道佐久JCT～八千穂IC区間の各ICにも直結する重要な道路である。計画区間は接続する幹線路線の4車線化により、ネック箇所として周辺道路の混雑を助長しており、道路交通ネットワークの安全・円滑化を図るため早期の改良を求められている。										
	地域からの要望経緯	佐久、小諸両市との意見交換会等様々な機会に要望を受けている。平成23年7月、平成24年7月 中込地区市政懇談会から要望										
	事業説明等の経緯	小諸市・国道141号四車線化建設促進協議会(H19、20、21、23、25(予定))において、地元関係者に現況説明を行っている。										
	環境・景観への配慮項目	佐久市、小諸市はそれぞれ全域が景観計画区域となっており、橋梁上部工、及び高欄等の安全施設の設計にあたっては、周辺環境と調和するよう配慮した工法を検討している。環境配慮制度対象箇所										
	他事業・プロジェクトとの関連	佐久・小諸都市計画区域マスタープラン 長野県総合5ヵ年計画(事業着手)										
	特記事項	跡部～石神、御影新田～平原が残された暫定2車線供用区間となっており、佐久市から小諸市間における交通のネック箇所となっている										
地域の合意形成	■ 全員賛成		□ 概ね賛成		□ 過半数賛成		□ 動向不明					
部意見	事業の必要性、重要性及び効率性が高いため、平成26年度から新規事業化したい。				行政改革課 意見		南佐久と佐久平・小諸を結ぶ重要路線。重要性が高く、緊急性も認められる。					
長野県公共事業評価監視委員会意見		県の自己評価は妥当と判断する。										